

## 保護者等に自衛隊制度説明

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一等陸尉）は、6月9日（土）横浜市内の学校法人大谷学園秀英高等学校で自衛隊制度説明会を実施した。

これは学校からの依頼により、担当教師や保護者等に対して実施したものである。例年は7月1日以降に教師と希望学生を主体に実施しているが、今年度は保護者からも早期の説明会実施を望む声が上がリ、担当事務所として対応した。

当日は熱心な参加者から「外出制度」「合格発表の要領」など幅広い質問があり、自衛隊制度等について真剣に考えている状況が窺えた。また対象者も7名参加し、「宮内生活」について質問が出るなど気持ちはすでに自衛官という学生もいた。

上大岡募集案内所は、「今後も学校説明会の機会を多く設け、保護者や対象者等の不安等を解消していき受験・入隊意欲の向上、ひいては自衛隊入隊へと繋いでいきたい」としている。



広報官の説明に聞き入る保護者等

## 卒業生の迷彩服姿を母校に紹介

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一等陸尉）は、6月11日（月）横浜市内の学校法人横浜学園高等学校を訪問した。これは例年7月1日の高校生の募集解禁前に、各学校に年度の募集要項等を説明するために訪問しているもので、この日は横浜上大岡募集相談員の山野井会長に同行していただき、担当教諭への説明を実施した。

この高校は例年自衛官採用試験の受験者は少ないものの、今年の春は女性2名が自衛官候補生として合格し、入隊した。担当教諭に4月の入隊式等で撮影した新制服や凛々しい迷彩服姿の写真を紹介すると、彼女たちの学生当時に振り返り、立派に成長した教諭の姿に驚くとともに、感激されていた反応が印象的だった。また、自衛官候補生の魅力等について所長が話すと、経済的なことや就職支援の手厚い状況を改めて知ることなどで段々と興味を抱かれている様子が窺え、募集広報が功を奏したと実感できた。

上大岡募集案内所は、「今後も学校と連絡を密にとり、教師へのイベント等案内や卒業生で現職の自衛官とともに訪問するなど連携を深化させていき、年度の募集成果に繋いでいきたい」としている。



担当教諭への募集説明



30年春入隊した  
千田自衛官候補生と担当広報官